

雨の強さと降り方

雨の降り方と危険性を知っておきましょう。

洪水災害は雨によって起こります。天気予報などにより大雨の情報が伝えられますが、皆さん自身でも雨の降り方に注意し、洪水の危険を感じたら早めに安全な場所へ避難しましょう。



やや強い雨

1時間に10～20mmの雨



地面一面に水たまりができ、話し声が聞き取りにくくなります。長雨になりそうなら、警戒が必要です。

強い雨

1時間に20～30mmの雨



どしゃ降りの雨、傘をさしていてもぬれてしまうほどの雨です。側溝があふれ、小規模のがけ崩れの心配もあります。

激しい雨

1時間に30～50mmの雨



バケツをひっくり返したように降る雨です。小規模の土砂災害が起こりやすく、道路が川のような場所もあります。

非常に激しい雨

1時間に50～80mmの雨



滝のように降り、あたりが水しぶきで白っぽく、視界が悪くなります。災害の発生の可能性が非常に高まります。

猛烈な雨

1時間に80mm以上の雨



息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じるような雨です。大規模な災害が発生する可能性が高く、厳重な警戒が必要です。

ゲリラ豪雨とは…

近年は異常気象が続いています。

ゲリラ豪雨とは、集中豪雨の別名で、短時間のうちに狭い範囲に集中して降る大雨をいいます。

台風などと異なり予測が難しく、地形によっては土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害、洪水などの被害が起きやすい雨です。

最近では、突発的なゲリラ豪雨のために市街地における内水はん濫が急増しています。

